

平成27年度

加東市手話施策推進方針実施状況

(平成28年3月末 現在)

1 手話に対する理解及び手話の普及を図るための施策

実施評価	○	実施した事業
	△	実施出来なかったが、翌年度以降実施予定
	×	見直し又は実施予定なし

No	施策目標(事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(1)	手話に対する理解の促進を図るための施策	市民に、手話は日本語や英語などの音声言語と同じように、豊かな表現や文法を持つ「言語」であることの理解を深めるための施策を実施します。	社会福祉課	手話言語条例のパフレット配布	4/1に市役所のロビーで、伝の助と市職員が来庁舎に手渡して配布しました。 印刷部数100部	○	実施の有無	
			社会福祉課 秘書広報課	伝の助の手話ポイントレッスン(ケーブルテレビ)	各月のテーマを決め、毎週1つの単語+その単語に関する単語の手話を伝の助からKC Vのキャスターが教えてもらう方法で手話レッスンする番組を「かとう情報BOX(週4回)」の中で放映しました。 (H27. 4月～) 放映回数 月4～5回	○	放映回数	継続実施 H28年度から手話用の「伝の助」の手を使用し、手話を見やすくします。
			社会福祉課 秘書広報課	伝の助の手話ポイントレッスン(広報かとう)	「広報かとう」に「ありがとう」などの手話を毎月1語ずつ言葉の成り立ちなどの説明もつけて掲載しています。 (H27. 9月号～)	○	掲載回数	継続実施 H28年度に手話用の「伝の助」の手を作成し、手話を見やすくします。
			社会福祉課	条例施行記念イベントの開催	条例施行を記念して、イベントを開催しました。	○	参加者数	平成28年度からも、手話講座で学んだ成果を発表するイベントを開催します。

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(1)	手話に対する理解の促進を図るための施策	市民に、手話は日本語や英語などの音声言語と同じように、豊かな表現や文法を持つ「言語」であることの理解を深めるための施策を実施します。	社会福祉課	市長が広く市民に挨拶する時等に手話通訳をつける	市主催のイベントに手話通訳をつけました。 実施イベント ・花火大会 ・夏のおどり ・伝の助マラソン(予定)	○	実施の有無	今後も出来る限り市主催のイベントに手話通訳をつけるように努めます。
			社会福祉課	夏休みこども手話教室の開催【1回/年】	小学生以下の子供や、その保護者を対象に、ケーブルテレビで放映の「伝の助 手話ワンポイントレッスン」でお馴染みの伝の助くんと一緒に簡単な手話を覚える教室を開催しました。 参加者19人	○	参加者数	継続実施 平成29年度末までの目標：参加者20人/年
			社会福祉課 秘書広報課 議会事務局	市議会(収録)放映時に手話通訳をつける	検討中	△	実施回数	収録・放映技術が難しいため直ぐに実施することは困難です。 当面は、傍聴希望者に傍聴席で手話通訳をつけることで対応します。(要申請)
			社会福祉課	手話を学んだ人のための特別講座	聴覚障害者から直接、「聞こえない人たちのくらしや、困ったこと」を学ぶ講座を開催しました。受講者31人	○	受講者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者30人/年

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	手話の普及を図るための施策	市民に手話を広く普及させるために、各種講座を開催します。	社会福祉課	ミニ手話講座【各地域3回】	<p>手話にふれあい、手話が言語であることを実感してもらい、簡単な挨拶が手話で表現でき、自分の名前が手話で表現できるようになる講座を開催しました。</p> <p>受講者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社地域 11人 ・滝野地域 0人 ・東条地域 3人 	○	受講者数	<p>継続実施 ※平成28年度は、平成27年度受講者数0であった滝野地域で開催する予定です。</p> <p>平成29年度末までの目標：各地域の受講者10人/年</p>
(2)	手話の普及を図るための施策	市民に手話を広く普及させるために、各種講座を開催します。	社会福祉課	出張ミニ手話講座【全3回】	<p>地域等から講座開催の申込があり、それぞれの要望会場へ出向いて、ミニ手話講座を開催しました。</p> <p>開催講座数 3講座</p> <p>受講者数 計56人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平木地区 25人 ・社高校 17人 ・東条西地区 14人 	○	講座数 受講者数	<p>継続実施</p> <p>平成29年度末までの目標：受講者10人/年</p>

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	手話の普及を図るための施策	市民に手話を広く普及させるために、各種講座を開催します。	社会福祉課	かとう 手話っこ講座 【全10回】	「聞こえない」体験をしながら、様々なワークショップを通して、手話を生活言語とする人たちの文化や、聞こえないことへの理解を深める講座を開催しました。 受講者 10人 バッジ贈呈者 7人	○	受講者数 バッジ贈呈者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者10人／年、バッジ贈呈者7人／年
			社会福祉課	出張かとう 手話っこ講座 【全10回】	団体等から講座開催の申込があり、団体に向き、かとう手話っこ講座を開催しました。 開催講座数 2講座 受講者数 計39人 バッジ贈呈者 22人 開催場所・受講者数 ・(福)でんでん虫の会 17人 ・(株)ドトールコーヒー 22人	○	受講者数 バッジ贈呈者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者20人／年、バッジ贈呈者7人／年

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	手話の普及を図るための施策	市民に手話を広く普及させるために、各種講座を開催します。	総務課	市職員研修(手話講座) 【全3回を3講座】	市職員を対象に、聴覚障害の理解と、ろう者の暮らしについて学び、窓口での対応が図れるように簡単な手話を習得するための講座を開催しました。 受講者 1講座：21人 2講座：13人 3講座：13人 受講者47人	○	受講者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者40人/年
			総務課	市職員新人研修	市職員新人研修のカリキュラムのひとつとして、「手話とは?」「加東市手話言語条例とは?」について理解を深めるための研修を開催しました。 受講者 15人	○	受講者数	継続実施 平成29年度末までの目標：新採用者全員の受講/年
			社会福祉課	手話奉仕員養成講 ・入門課程：全20回	○入門課程：初めて手話を学ぶ方を対象に、聴覚障害の基礎知識や聴覚障害者の生活を知るとともに、相手の簡単な手話が理解でき、手話で簡単なあいさつや簡単な会話ができるようになるための講座を開催します。 受講者 20人 修了者 17人	○	受講者数 修了者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者20人/年、修了者17人/年

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	手話の普及を図るための施策	市民に手話を広く普及させるために、各種講座を開催します。	社会福祉課	手話奉仕員養成講 ・基礎課程：全25回	○基礎課程：「入門課程」修了者または同程度の技術を有する方を対象に、基本文法を学び、相手の手話が理解でき、特定の聴覚障害者であれば日常会話ができるようになるための講座を開催しました。 受講者 9人 修了者 8人	○	受講者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者20人／年、修了者17人／年
			社会福祉課	市立保育園小中学校の福祉学習に設置手話通訳者等の派遣	市内保育園中学校から依頼があり、設置手話通訳者を派遣しました。 派遣先 ・社保育園 ・社中学校 計2回派遣 参考 この他に、社中学校と東条中学校からの依頼により加東市聴覚障害者協会が講演されました。	○	派遣回数	より多くの保育園、小中学校の福祉学習に設置手話通訳者を派遣するように務めます。

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	手話の普及を図るための施策	市民に手話を広く普及させるために、各種講座を開催します。	社会福祉課	各種団体等の福祉学習に設置手話通訳者の派遣	<p>団体から依頼があり、手話の普及促進のための福祉学習に、設置手話通訳者を派遣しました。</p> <p>派遣先</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生児童委員協議会(東条地区) ・民生児童委員協議会(聴覚障害の部) <p>計2回派遣</p>	○	派遣回数	より多くの団体等の福祉学習に設置手話通訳者を派遣するように努めます。
			社会福祉課	全国手話検定試験対策講座	<p>全国手話検定試験受験者を対象に、読み取り試験や手話によるスピーチの模擬試験を行い、検定試験合格に向けての対策講座を開催しました。</p> <p>受講者数10人 合格者数10人</p>	○	受講者数 合格者数	<p>継続実施</p> <p>平成29年度末までの目標：受講者数10人/年</p>
			社会福祉課	夏休み こども手話教室(再掲)	<p>小学生以下の子供や、その保護者を対象に、ケーブルテレビで放映の「伝の助 手話ワンポイントレッスン」でお馴染みの伝の助くんと一緒に簡単な手話を覚える教室を開催しました。</p> <p>参加者19人</p>	○	参加者数	<p>継続実施</p> <p>平成29年度末までの目標：受講者20人/年</p>

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	手話の普及を図るための施策	市民に手話を広く普及させるために、各種講座を開催します。	社会福祉課	手話を学んだ人のための特別講座	聴覚障害者から直接、「聞こえない人たちのくらしや、困ったこと」を学ぶ講座を開催しました。 受講者 31人	○	受講者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者30人／年

2 市民が手話による意思疎通や情報を得るための施策

実施評価	○	実施した事業
	△	実施出来なかったが、翌年度以降実施予定
	×	見直し又は実施予定なし

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(1)	市民が手話により意思疎通を図るための施策	手話通訳者の派遣制度の充実を図るため、手話通訳者の養成を引き続き行うとともに、手話通訳者の現任研修の充実を図ります。	社会福祉課	手話通訳者養成講座(通訳Ⅰ) 【全35回】	手話奉仕員養成講座の修了者または同程度の技術を有する西脇市・多可町・加東市に在住・在勤者を対象に、身体障害者福祉の概要や手話通訳の役割・責務等について理解と認識を深めるとともに、手話通訳に必要な手話語彙、手話表現技術及び基本技術を学ぶための講座を開催しました。 受講者20人	○	受講者数	継続実施 <予定> 平成28年度：通訳Ⅱ 平成29年度：通訳Ⅰ 平成30年度：通訳Ⅲ
			社会福祉課	市登録手話通訳者現任研修 【全10回】	市登録手話通訳者を対象に、事例検討や場面通訳などのスキルアップを行なうとともに、知識学習で一般理論などを学ぶ研修を開催しました。 全10回開催	○	開催回数	継続実施 平成29年度末までの目標：開催回数10回/年
			社会福祉課	手話通訳士対策講座 【全6回】	今年度、手話通訳士試験を受験される方を対象に、聞き取り通訳や読み取り通訳などの試験対策講座を開催しました。 受講者2人	○	受講者数	まずは、手話に対する理解の促進及び普及を図ることを推進する必要があるため、暫くは開催を見送ります。

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(1)	市民が手話により意思疎通を図るための施策	手話通訳者の派遣制度の充実を図るため、手話通訳者の養成を引き続き行うとともに、手話通訳者の現任研修の充実を図ります。	社会福祉課	統一試験対策講座【全3回】	今年度、兵庫県手話通訳者認定試験（統一試験）を受験される方を対象に、読み取り要約や場面通訳などの試験対策講座を開催しました。 受講者15人 (合格者3人)	△	受講者数	継続実施 平成29年度末までの目標：受講者10人／年
			社会福祉課	市手話通訳者等登録試験	聴覚障害者及び言語障害者の生活の安定とその福祉の向上のため、手話通訳者派遣等事業を実施するにあたり、市手話通訳者等を登録するための試験を実施しました。 受験者 5人 通訳者合格1人 準通訳者合格2人 ※H27年度末の登録手話通訳者3人	○	受験者数 合格者数	継続実施 平成29年度末までの目標：市登録手話通訳者6人
(2)	市民が手話により情報を得るための施策	市主催のイベントやケーブルテレビの番組に手話通訳をつけるよう努めます。	社会福祉課 秘書広報課	かとう情報BOX等（ケーブルテレビ）に手話通訳をつける	週4回放映の「かとう情報BOX」全体にH26年度は月1回でしたが、H27年度から月2回手話をつけるようになりました。 放映回数 月2回	○	放映回数	継続実施 平成29年度末までの目標：全ての「かとう情報BOX」と「ワイドニュース」に手話をつけます。

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	市民が手話により 情報を得るための 施策	市主催のイベントや ケーブルテレビの番組 に手話通訳をつけるよ う努めます。	各課	市主催のイベント に手話通訳をつける	各課で行なうイベント や講演会に手話通訳を つけました。 15回 花火大会、新成人の集 い 加東市制10周年式典 など	○	実施の有無	今後、より多くのイベントや講演会に手話 通訳をつけます。
			社会福祉課 秘書広報課 議会事務局	市議会(収録)放 映に手話通訳をつ ける (再掲)	検討中	△	放映回数	収録・放映技術が難しいため直ぐに実施す ることは困難です。 当面は、傍聴希望者に傍聴席で手話通訳を つけることで対応します。(要申請)

3 手話通訳者の配置の拡充、処遇改善等、手話による意思疎通支援者のための施策

実施評価	○	実施した事業
	△	実施出来なかったが、翌年度以降実施予定
	×	見直し又は実施予定なし

No	施策目標(事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(1)	手話通訳者の配置の拡充を図るための施策	平成27年度から、各種講座の講師を設置手話通訳者が務めることから、設置通訳者を2名体制とし、市窓口に通訳者が不在とならないよう努めます。	社会福祉課	設置手話通訳者を2名体制とする(手話通訳士)	H27年度から、手話に対する理解及び普及を図るために、多くの講座を実施し、その講師を設置通訳者が努めることから、市窓口に通訳者が不在とならないように、設置通訳者を2名体制としました。 設置通訳者 2人	○	設置人数	継続実施 平成29年度末までの目標：設置通訳者2人(参考・・・福祉計画の見込数：1人)
(2)	手話通訳者等の処遇改善等に関する施策	平成27年度から、兵庫県が実施する手話通訳者の広域派遣事業に関し、手話通訳者の報酬が引き上げられることから、市も県の報酬額にあわせて引き上げを行います。併せて、従前から実施しているけい腕検診及びインフルエンザ予防接種に対する費用の助成を行います。	社会福祉課	市登録手話通訳者の報酬を引き上げる	平成27年度から兵庫県が実施する通訳者の広域派遣事業に関し、手話通訳者の報酬が引き上げられたことにより、市も県の報酬額にあわせて報酬単価を1,200円から2,000円に引き上げました。(4月1日～) 引上げ額800円	○	引上げ額	今後も兵庫県の報酬額を参考に、より一層処遇改善に努めます。

No	施策目標 (事業)	内容	担当課	該当する事業等	現状(実施状況)	実施 評価	活動評価の指標	課題・今後の方向性
(2)	手話通訳者等の処遇改善等に関する施策	平成27年度から、兵庫県が実施する手話通訳者の広域派遣事業に関し、手話通訳者の報酬が引き上げられることから、市も県の報酬額にあわせて引き上げを行います。併せて、従前から実施しているけい腕検診及びインフルエンザ予防接種に対する費用の助成を行います。	社会福祉課	市登録通訳者に対し、けい腕検診及びインフルエンザ予防接種に対する費用を助成する	従前から実施している、けい腕検診及びインフルエンザ予防接種に対する費用を助成します。 助成回数 各1回 総助成額 12,000円	○	助成回数 総助成額	継続実施 (市登録通訳者のみ)